

平成 31 年度 磯子区民文化センター「杉田劇場」
事業計画書

指定管理者：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス共同事業体

第1 基本的な方針

1. 本指定期間における基本的な方針

文化の力で区民力と地域力を最大限に引き出して、まちづくりと人づくりに貢献する区民文化センターを目指します。

2. 平成 31 年度の基本方針

31 年度の重点取り組み「ひろげる」
区民と協働し地域を文化の力でひろげます。

31 年度の強化ポイント

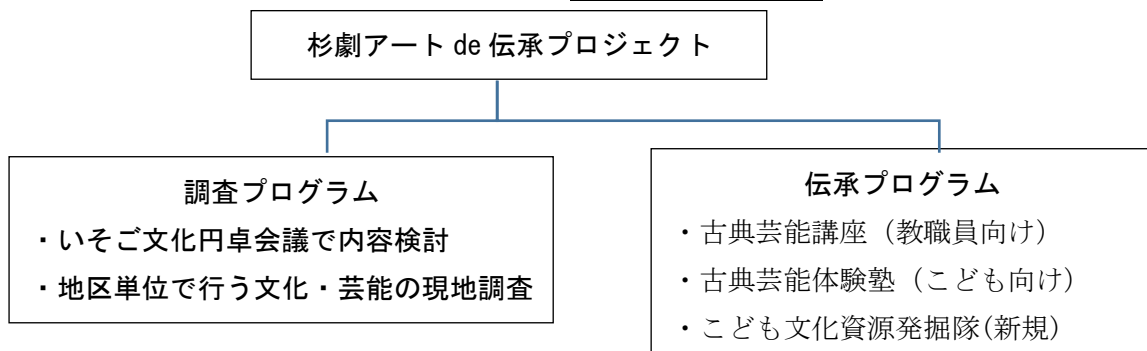
<地域の文化を未来へひろげる仕組みの構築>

杉田劇場では、区民のニーズに合わせて、文化資源発掘隊を実施し、区民とともに、いそごの史跡や名勝などを探訪し、地域の文化資源・人材を発掘してきました。今年度はさらに、地域の文化・古典芸能や伝統技能に目を向けて、それらを伝承・普及するために、『杉劇アート de 伝承プロジェクト』として、事業を展開します。(30 年度より継続事業として実施予定)

- ・町内会や神社、お囃子保存会の協力を得て、お囃子やお神楽などの地域の祭り文化の調査(個別調査)を実施します。
- ・学校教育に地域の歴史文化を伝えていくため、こどもだけでなく指導する立場である教員等も対象に「杉劇古典芸能体験塾」や「古典芸能講座」として、伝統芸能・古典芸能を体験できる鑑賞機会を提供します。

※(参考)『杉劇アート de 伝承プロジェクト』について

『杉劇アート de 伝承プロジェクト』地域の高齢化が進む中で区内の伝統文化・資源を調査し記録に残す目的で行い、今年度は、「調査プログラム」と、地域の教育分野における伝統文化へのアプローチを大人からこどもへとつないでいく「伝承プログラム」を行っていきます。



<区民が主体になる取組み>

- ・区民のアイデア募集から生まれた杉劇リコーダーずや杉劇☆歌劇団をはじめ、日ごろからよく利用していただいている文化活動団体（貸館利用者：企画者、出演者）に、町内会の祭りやイベントを紹介し新しい活動の場を提供するとともに、地域の賑わいづくり、地域づくりにも寄与できる取り組みを今年度も継続していきます。
- ・各町内会に職員が積極的に出向き、区内の声を集約し広報活動を行います。
- ・地域の文化活動においても、町内会や区民利用施設、商店街といった“まち”と杉劇リコーダーずや杉劇☆歌劇団などの杉田劇場で生まれた“文化活動団体”、や地域の文化活動団体をつなぎ、双方のニーズをマッチングさせていきます。

※（参考）「杉劇リコーダーず」「杉劇☆歌劇団」「杉劇@助っ人隊」について

○杉劇リコーダーず

平成 18 年に区民の企画アイデアから生まれた、こども（小・中学生）大人（団塊世代以上）からなる異世代交流のリコーダーアンサンブルです。親子で参加したいというメンバーや、中学校を卒業してもリコーダーずを続けたいというメンバーからの声を受け、平成 29 年度からは、さらに親子で参加できるように「世界中のこどもとおとなのためのリコーダーアンブル」として、活動を続けています。定期演奏会のほか、地域のお祭りや企業・学校のイベントや、北海道から沖縄まで日本中へ出向いての演奏など、各地で文化交流を行っています。平成 30 年度は世界遺産に登録された出津教会・旧出津救助院（長崎）で、オルガンとリコーダーの演奏会を行ってきました。

○杉劇☆歌劇団

平成 24 年に杉田劇場で生まれた「地域密着型エンターテインメント集団」です。歌とダンス、演技のレッスンと、それぞれの先生がメンバーに合わせた指導を行っています。振り込め詐欺防止啓発のための芝居公演や、神奈川県食育キャンペーンでのパフォーマンスなど、歌とダンスでのアウトリーチ活動も活発に行い、磯子のまちを盛り上げています。

○杉劇@助っ人隊

平成 19 年に結成された、杉田劇場を支える「区民主体のボランティア組織」です。「自分にできることで杉田劇場の役に立ちたい」、「文化活動に関わりたい」と、磯子区・金沢区などから 30 名ほどのメンバーが登録しています。助っ人隊会議で提案し、ロビーパフォーマンスの企画・出演や杉田劇場自主公演時のチケットメイクや場内のご案内、杉劇☆歌劇団の衣装づくりや発送作業の手伝い、レセプション研修参加など、劇場運営の表方から裏方まで、隊員たちが様々なシーンで活躍しています。

第2 平成31年度事業計画

1. 平成31年度事業計画（事業）

(1) 文化芸術鑑賞の機会の提供とまちの賑わいづくり

ア 主として鑑賞機会提供を目的とするもの（一般対象）

①舞台芸術鑑賞シリーズ 年3回程度

- ・音響、照明等のホールの特性を活かしたクラシック・ジャズ・演劇等の公演を開催します。
- ・第三期指定管理期間の最終年として、質の高い海外アーティストの公演を実施します。

②共催による鑑賞事業 年3回程度

- ・芸術団体、音楽事務所などとの共催による鑑賞事業を実施します。地元在住や出身のアーティストの公演、地元になんだ人物や歴史についての公演を中心に、また、配布物や公演時のMC（司会やアーティスト自身によるトーク）の中で積極的に紹介、解説します。

③フレンドシップパフォーマンス 年1回

- ・区民と海外アーティストとの国際文化交流の機会を作ります。

【目指す成果】

①舞台芸術鑑賞シリーズ

- ・身近にある劇場で質の高い芸術文化事業を提供し、施設に集まる人々の拡大を図ります。
- ・ホールやリハーサル室の特性を活かし、区民にアーティストの躍動感や息遣いが感じられる鑑賞機会を提供し、ライブならではの感動を届けます。

②共催による鑑賞事業

- ・連携した事務所やアーティストと、杉田劇場での公演後の影響（SNSのフォロワー数等への影響）、他会場での反応などを振り返り、効果を検証します。
- ・公演を通して、地域資源を知ること、地元の歴史や文化に愛着を感じる区民を増やします。

③フレンドシップパフォーマンス

- ・身近な施設で、文化を通して人的交流を行い、広い世界、異文化へ理解を深める区民を増やします。

イ 主として鑑賞機会提供を目的とするもの（こども、親子対象）

①杉劇アート体験塾 年1回

- ・区内の小学生を杉田劇場に招き、公演鑑賞の機会を提供します。

②杉劇古典芸能体験塾 年2回 『杉劇アート de 伝承プロジェクト』

- ・普段関わることの少ない「伝統芸能」に焦点をあて、区内の小学生を対象に日本古来の文化を知ってもらう鑑賞プログラムを実施します。

③横浜市芸術文化教育プラットフォーム（実施回数は希望校の数により変動）

- ・区内小・中学校へのアウトリーチ事業にコーディネーターとして参画します。コーディネーターとして、学校とアーティスト間の調整役を担い、アーティストを学校へ派遣します。
「体験型プログラム」（3日間程度）と「鑑賞型プログラム」（1日）があり、内容等は学校側の要望に応じて決定します。

④杉劇キャラバン（実施回数は希望校の数により変動）

杉田劇場独自の取り組みとして、学校でのアート体験の機会を提供します。

⑤ひよこ♪コンサート 年2回

- ・「0才から入場可能なコンサート」とし、未就学児とその親である子育て世代を対象に、文化体験やコミュニティとして情報収集の場を提供します。

⑥ロビーパフォーマンス 年12回

- ・主にこども向けの歌、楽器演奏、踊り、アート体験等のパフォーマンスをロビーで開催します。

【目指す成果】

①杉劇アート体験塾 ②杉劇古典芸能体験塾

- ・小・中学生に舞台芸術の鑑賞や体験の機会を通じて、生の音楽や演劇の楽しさを伝えます。
- ・公演鑑賞の際のマナーや基礎知識を学べるようにします。

③横浜市芸術文化教育プラットフォーム ④杉劇キャラバン

アーティストと劇場スタッフが一緒に学校に出向いて芸術文化の鑑賞や体験を行うことで、子どもたちの創造性を育むとともに、杉田劇場が「わがまちの劇場」であることを理解する文化活動に興味をもってもらうきっかけにします。

⑤ひよこ♪コンサート

- ・子育て支援の一環として、音楽を通じた親子のふれあいの場とします。また、子育て世代同士をつなぎ、交流の場作りの機会とします。

⑥ロビーパフォーマンス

- ・出入りが自由なロビーでの事業の参加しやすく、初めての来館者を開拓するとともに地域の居場所としての開かれた劇場を目指します。
- ・各回の企画、演出等についても杉劇@助っ人隊や地域文化活動団体が参画することで、区民主体の運営を実現します。

ウ 主として街のにぎわいづくりと地域連携強化に資するもの

①杉田劇場夏祭り 2019 8月開催予定

- ・より密接な地域交流を図るため全館を開放し、施設オープンデーとして夏まつりを開催します。
- ・劇場へ気軽に足を運んでもらう機会をつくり、こどもからお年寄りまで幅広い年代層の地域交流を促します。
- ・企画には杉劇@助っ人隊や地域の団体が参画します。

②第7回磯子音楽祭 磯子公会堂にて12月開催予定

- ・磯子出身や在住のアーティスト、磯子にまつわる公演内容で音楽祭を開催します。

【目指す成果】

- ・区民が出演、企画等に参加、文化活動や文化施設に興味のなかった方を巻き込み、劇場を身近に感じ、豊かな区民文化を誇りに思えることを目指します。
- ・杉劇リコーダーズや杉劇☆歌劇団といった実績のある団体のほかにも、杉田劇場の利用団体に呼びかけ、新たな活動領域への進出を支援します。

(2) 地域における文化活動の担い手育成

ア 演じ手や支える人材の発掘・育成

①区民が参加する文化活動団体の運営及び協働・支援

- ・杉劇リコーダーズ、杉劇☆歌劇団、杉劇@助っ人隊等の事業でワークショップの企画運営やアウトリーチ活動を実施します。また、施設利用の優先予約や利用料の減免など、各団体の活動に対する支援を行います。

②いそご文化資源発掘隊 年2回『杉劇アート de 伝承プロジェクト』

- ・区民の情報力と意欲を最大限に活かし、磯子の文化にちなんだ人・もの・場所に目を向け、文化の伝承につなげます。

③こどもいそご文化資源発掘隊 年1回『杉劇アート de 伝承プロジェクト』〈新規〉

- ・夏休みを利用して、こども対象に地域の文化資源に触れるプログラムを作ります。
- ・区民の情報力と意欲を最大限に活かし、磯子の文化にちなんだ人・もの・場所に目を向け、文化の伝承につなげます。

④古典芸能講座 年1回 『杉劇アート de 伝承プロジェクト』

- ・教職員向けの事業として、地域の伝統文化についての知識や経験を学校教育に活かせるような講座を展開します。

【目指す成果】

①区民が参加する文化活動団体の運営及び協働・支援

- ・文化を通じて積極的に地域に関わる人材を育成します。

②、③いそご文化資源発掘隊

- ・地元に住んでいても知らなかった、訪ねたことがなかった場所を開拓し、地域への愛着を増進します。
- ・案内役も区民を中心に適任者に依頼することで、その後の人材ネットワークにつなげます。

④古典芸能講座

- ・区内の教育現場において、地域を知ること、地域の伝統文化や伝統芸能の造詣が深まるきっかけを作ります。

イ 団体や人をつなぐ仕組みづくり、環境整備

①いそご文化円卓会議 年3回『杉劇アート de 伝承プロジェクト』

- ・区内団体や有識者が、それぞれの地域が持つ伝統的な文化・芸能についての情報交換や、伝統文化の伝承・普及につなげるための記録を残すにあたり、取材の内容を検討する会議を実施

<p>します。</p> <p>②磯子文化ガイドブックの発行 年1回『杉劇アート de 伝承プロジェクト』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度に引き続き磯子区町内会の文化活動の特集します。 <p>③文化・古典芸能の調査、活用『杉劇アート de 伝承プロジェクト』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のまつりや伝統芸能・伝統技能などの実態を調査し、杉劇☆歌劇団の活動に活かします。
<p>【目指す成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町内会や団体と顔の見える関係を築きながら、地域での伝統芸能の実態を調査し、地域文化伝承のつなぎ役となります。

(3) 地域課題への取り組み、社会包摂型事業

<p>①歌声プロジェクト（実施回数は希望校の数により変動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の歌声を収録し、商店街や区役所等の公共空間で流します。 <p>②杉劇ちょこっとカフェ（青少年対象：年2回、高齢者対象：年4回程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯子区青少年地域活動拠点「イソカツ」と連携をして、中・高校生も参加できる居場所づくりを行います。 ・地域と連携して、高齢者の生きがい探し、仲間作りにつながる大人のための居場所づくりを行います。
<p>【目指す成果】</p> <p>①歌声プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の文化活動に対する地域の理解を促進、「地域が子どもたちを育てる」機運を醸成します。 <p>②杉劇ちょこっとカフェ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもや高齢者が杉田劇場の自主事業（杉劇夏まつり2019など）に参加できるよう促し、居場所づくりと同時に文化活動に関わるきっかけづくりの場を提供します。

2. 平成31年度事業計画（運営）

(1) 共同事業体による専門性と地域の力を融合させた運営

共同事業体構成団体の専門性と地域の力を融合させた運営を行います。各団体が業務を分担し、適切に人材を配置します。また、地域での活動を踏まえた効率的な勤務体制で、施設利用や舞台に関する技術的な相談等を受けられる体制を維持します。

(2) 必要な人材配置と職能

<p>1. 共同事業体の構成</p> <p>財団（館長・代表団体）／NPO法人チーム杉劇（事業、施設運営、維持管理）／ （有）アイコニクス（舞台）／（株）ニックスサービス（清掃、設備保守、管理）</p> <p>2. 人員体制</p>
--



役職・担当		所属
館長		財団
舞台	照明	アイコンクス
舞台	音響	アイコンクス
舞台	舞台	アイコンクス
管理／管理チーフ		チーム杉劇
管理／管理サブチーフ	総務	チーム杉劇
管理	経理	チーム杉劇（派遣）
管理	労務	チーム杉劇
事業企画／事業企画チーフ		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
運営（コンシェルジュ）		9名 チーム杉劇（パート）

※設備管理のニックスサービスは常駐しない。

- ・館長 1名（財団）
- ・舞台 3名（アイコンクス）
- ・管理 4名（チーム杉劇4 うち派遣1名）
- ・事業企画 4名（チーム杉劇）
- ・運営 9名（チーム杉劇）

※上記の他、財団事務局において以下のバックアップを実施

- ・経営企画室（JV 会議出席、経理事務補助 等）
- ・総務グループ（財団職員の給与計算及び社会保険、修繕対応 等）

【目標等】

- ・人員体制を安定させ、区民主体の運営を実現します。

(3) 情報共有及び研修の実施

○シフト勤務のため、全員が揃うことが少ない中で、メール、毎日の朝礼、連絡ノートの活用などで、日常的な情報を共有するとともに、職員間ならびに各社のコミュニケーションを深めな

がら、各専門の会議を定期的に行い、共同事業体間での連携を計ります。また、地域における会合へも積極的に参加します。

○職員のスキル向上、ホスピタリティの向上などを目的として実践的な研修を実施し、ホール運営や様々なニーズの利用者に対応します。クレーム対応を生かしお客様対応マニュアルを再整備し、スタッフ間で共有し、業務改善をします。

【実施予定等】

■各種会議等

- ・朝礼（出勤スタッフ） 1回／日
- ・事業ミーティング 1回／月
- ・事業管理ミーティング 1回／月
- ・定例ミーティング（館長以下常勤スタッフ） 2回／月
- ・CS会議（チーフ、舞台技術チーフ、設備担当者） 4回／年
- ・代表者会議（財団施設担当理事、NPO理事長、アイコンズ代表、ニックスサービス代表、館長）2回／年
- ・財団グループ長連絡会 2回／月
- ・コンプライアンス委員会 1回／月
- ・防災管理会議（館長、火元責任者） 2回／年
- ・磯子区NPO連絡会 6回／年
- ・磯子区地域ケア会議への参加 不定期
- ・磯子区民利用施設館長連絡会への参加 6回／年
- ・磯子区子育て支援連絡会 2回／年
- ・区民文化センター(市民プラザ)館長連絡会 6回／年
- ・全国公立文化施設協会・神奈川県公立文化施設協会 2回／年
- ・磯子区小学校校長会・中学校校長会 適宜
- ・金沢区小学校校長会 適宜
- ・らびすた新杉田テナント会 1回／月

■各種研修等

- ・新人研修・実務研修 1回以上／年
- ・防災・防犯研修 2回／年
- ・アートマネジメント研修 1回以上／年
- ・コンプライアンス研修 2回以上／年
- ・マイナンバー研修 1回／年
- ・人権研修 2回以上／年
- ・予約システム研修 1回／年
- ・ユニバーサルサービス研修 1回／年
- ・レセプションист研修 1回／年
- ・食品衛生責任者研修 1回／年

(4) 効率的な運用と利用者サービス

- こどもからお年寄り、障がいのある方々にも利用しやすいよう、スタッフが決め細やかなサポートを行います。地域ケアプラザ等との連携を含めて、あらゆる層の対応をします。
- 地域情報の集積・発信地として、情報コーナーを整理・活用します。
- 施設 Web サイトをさらに活用し、利用者のニーズに基づいた情報提供を行います。すでに運用しているブログのほか、情報の種別に適した広報媒体を使用し、多方面へ配信していきます。
- スマイルクラブ通信(ペーパーベース)の発行などで個別に届く情報を増やします。
- 杉田劇場の友の会組織であるスマイルクラブの会員メリットに会員限定招待の催し等(テレビ番組収録への招待等)を加え、さらなる会員増を図り、チケット販売数や参加者数を伸ばし、チケット収入増を目指します。
- チケット購入の利便性を図るために、WEB を利用したチケット販売を開始します。〈新規〉
- 区内小中学校の校長会や磯子事業会などを介して、予約システムご利用以外の層に、空室の活用を促します。

【実施予定等】

- ホームページ、ブログの定期的更新/年 24 回以上
- 公演情報等の収集・配架/年 1,800 件
- SNS の配信/年 50 回以上
- スマイルクラブ通信/年 12 回発行
- 施設利用率目標
 - ・ホール 76% (日単位)
 - ・ギャラリー 96% (週単位)
 - ・リハーサル室 60% (コマ単位)
 - ・会議室 60% (コマ単位)
 - ・練習室 95% (コマ単位)
- 施設の年間利用者数 94,000 人

(5) PDCA サイクルの運用

- 貸館利用者や主催公演参加者、来場者へのアンケート、ワークショップ利用者の提案のほか施設設備の保守案件等の日常的なデータを適切に蓄積して整理・分析し、モニタリング等で横浜市へ報告します。
- PDCA サイクルを的確に運用し、事業の推進につなげます。
 - ・業務振り返り(自己評価)の実施 2 回/年(上半期・下半期)
 - ・各事業後の反省会の実施(アンケート結果の集計、分析など)

3. 平成 31 年度業務計画（維持管理）

(1) 維持管理

- 「横浜市公共建築物マネジメントの考え方」に基づきプリメンテナンス（予防保全）に心掛け、施設の長寿命化につながる維持管理を行います。
- 法令、維持保全の手引き、業務の基準等に定める内容に沿って適切な保守点検等施設維持管理を実施します。
- 施設の長寿命化を図るため、各設備の劣化状況を把握し、横浜市への報告・協議を行うとともに、長期修繕計画の策定などの対応を図ります。
- 建物管理及び館内清掃については主に施設休館日や営業時間外に行い、最大限の施設提供を実現します。
- 施設休館予定日：4月9日（火）、5月14日（火）、6月11日（火）・12日（水）、7月9日（火）、8月13日（火）、9月10日（火）、10月8日（火）、11月12日（火）、12月10日（火）、12月29日（日）～31日（火）、1月1日（水）～3日（金）、1月14日（火）、2月12日（水）・13日（木）、3月10日（火）

(2) 環境への配慮

- 横浜市が掲げる、「ヨコハマ 3 R 夢プラン」に積極的に取り組み、エコロジー活動を推し進め、コスト削減への意識改革をはかり、省エネ活動を行います。
- ・エコマテリアルの導入
- ・産廃ゴミ分別の徹底
- ・古紙リサイクル
- ・インクカートリッジ回収事業への参加

4. 平成 31 年度業務計画（収支）

(1) コスト削減と収入向上

- 消耗品、コピー、印刷費等の日常的な事務費の利用方法・頻度を見直し、削減します。
- 利用者に負担をかけない範囲で、省エネを励行し、光熱水費を削減します。
- ホールの耐震改修工事後、30年度は利用率が一時的に下がりましたが、ホール、会議室やリハーサル室の利用を促進するために、町内会や学校の校長会、磯子事業会や工業会等で積極的に広報を行います。
- 質の高い協力公演などの実施を通して、販売手数料の収入増に努めます。
- 杉田劇場の友の会組織であるスマイルクラブの会員メリット等の内容を刷新し、会員増を図り、チケット販売数や参加者数を伸ばし、チケット収入増を目指します。（再掲）
(目標：30年度比 10%増 (30年10月末会員 125名))

(2) 外部資金導入

○協賛金、助成金の獲得に努めます。

(目標)	助成金獲得	地域創造	193万円
	協賛金獲得	企業、店舗等 20社	40万円

5. その他

(1) 危機管理対策

○磯子区の防災計画にある事業者の責務・役割を踏まえた対応、災害時における帰宅困難者対応
・帰宅困難者受入のための物品等を預かり、適切に管理します。

・一時避難場所開設のため、らびすた新杉田に協力を要請し、終夜受入体制を維持します。

○ビル管理会社と連携し、消防計画の点検・見直しを随時行うとともに、必要な訓練を実施します。

・共同防火防災管理協議会、及び共同防火防災訓練に参加します。

共同防火防災管理協議会への参加 2回/年

共同防火防災訓練への参加 1回/年

・消防計画と、緊急時の対応についてスタッフに周知徹底します。

防災研修 2回/年(再掲)

○施設利用者の安全確保に配慮し、貸館利用者や事業主催者等に対して、緊急時の対応について事前案内を行うほか、必要に応じて協議を行います。

(2) コンプライアンスの取組

○公務の代行者として、関係法令、条例、規則等と定められた手続きを遵守し、高い倫理観をもって施設を管理運営します。

○毎月、横浜市芸術文化振興財団で実施するコンプライアンス委員会での情報を、スタッフ全員で共有し、注意喚起します。

・コンプライアンス委員会（館長） 1回/月

○各種研修の実施及びチェックシートを活用した確認や振り返りを行うなど、個人情報保護をはじめとするコンプライアンスへの取り組みを徹底します。

・コンプライアンス研修（職員） 2回以上/年（再掲）

・マイナンバー研修 1回/年（再掲）